

「宇宙の始まりに 思いを寄せて」

出典：光村図書「中学道徳2 きみがいちばんひかるとき」

東京都武蔵村山市立第四中学校
主幹教諭
たかはしゆうこ
高橋優子



学年 2年 内容項目 D (21) 感動、畏敬の念

ねらい 天文学者の大内正己さんの気持ちを共感的に捉えることを通して、「感動する心」を見つめさせ、感動する心を大切に生きていく心を育てる。

わたしの授業、ポイントはココ

この授業を行う際に心配だったのは、「感動する心」について考えたことのある生徒はそれほど多くはなく、他人事として「へえ、そうなんだ」で終わってしまうのではないかと、ということでした。しかし、この教材から伝わる「心を揺さぶられるような感動」について、生徒にも自分事として捉えてもらいたいと考え、以下のような工夫を行いました。

1 発問順の変更

私の学校では、ローテーション道徳に取り組んでいます。何度か授業をする中で、生徒から「感動は、人にどんな力を与えるか」は、自分の体験を思い出してからの方が考えやすいとアドバイスされました。そこで、次の授業では、

それまでと発問の順を変えて、「筆者の大内さんの感動体験」→「自分の感動体験」→「感動の力」としたところ、自分のフィルターを通して、より主体的に考えていくことができました。

2 教材を生かすための工夫

筆者の大内さんの職業や研究テーマを解説するスライドを作成し、教材を読んだ後に、生徒に見せました。このスライドによって、幼少期の感動体験が、現在の職業や研究テーマにつながり、大きな発見にまで影響していることを短時間で押さえることができました。その分、中心的な発問での話し合いに十分な時間を取ることができ、「感動する心」を深く見つめていくことができました。

高橋先生の授業、ココに注目!

道徳科は、生徒と教師がいっしょになって、よりよい生き方を探求し合う時間であるだけに、授業者の姿勢が問われるものです。個人的な精神作用である「感動」をどう共有し、互いの生き方に反映するのかという難問を、正面から生徒に投げかける、誠実で真摯な先生の姿が授業に表れていました。扱いにくい内容項目を取り上げる際は、その内容項目と関連の深い内容項目の教材を組み合わせ、複数時間のユニットとして授業することも考えられます。よりいっそう生徒の琴線にふれる授業となるでしょう。

國學院大學 教授
たぬまじげき
田沼茂紀

教材の内容(あらすじ) 2008年、天文学者の大内正己さんは、宇宙の誕生と進化の手がかりとなる巨大天体「ヒミコ」を発見した瞬間、思わず立ち上がって叫んだ。宇宙との出会いは、小学校1年生のとき。そのときの、涙が止まらなくなるほどの感動が、今でも天文学者としての大内さんの原動力となっている。

1

自分の感動体験に意識を向ける

発問 あなたがこれまでに感動したことを思い出してみましょう。

- 映画や漫画を見て感動した。
- 音楽を聞いて感動した。
- 感動したことがない(思い出せない)。

考えよう(考えるテーマ):「感動する心」を見つめよう。

「宇宙の始まりに思いを寄せて」を読んで、考える
筆者の大内正己さんについてのスライドを見せる。



発問 次の三つの感動に対して、
大内さんはどんな気持ちだったでしょう。

- ① 小学校1年生で、絵本を読んで涙が止まらなくなったとき
 - そんなに大昔のことだったのか(時間の長さへの感動)。
 - 宇宙は大きいんだ(スケールの大きさへの感動)。
- ② その後、ベランダで草木の緑を見たとき
 - 大昔の何も無い地球と今の地球との違いに驚いた(変化への感動)。
- ③ ヒミコを発見したとき
 - 宇宙の原点を見つけた(発見の喜び)。
 - 研究が実った(努力の成果)。

2

発問 あなたが感動したことを思い出しましょう。そのとき、
あなたは、なぜ、感動したのでしょうか。

- 1年生の合唱発表会。みんなで生み出したことの喜びに、心が揺さぶられた。
- ドッジボール大会。ボールをキャッチできて、達成感を味わえたから。
- 剣道の試合で負けたとき。相手の技術に、尊敬と憧れを感じた。
- ピアノが弾けるようになったとき。成長できたと感じたから。
- アニメ映画の人を助けるシーン。自然と心がいっぱいになった。

中心的な発問 感動は、人にどんな力を与えるでしょう。

- やる気、自信、友情、仲間との絆、成長。 ▶なぜ、やる気が湧いてくるの?
- 努力してきたことが、「感動」という形になったから。
- 感動を人と共感したいという思い。 ▶なぜ、共感したくなるの?
- 共感すればするほど、相手の気持ちがわかるから。
- 感動は、目標を示す。 ▶もっと具体的に説明できる?
- 「すごいな」という感動が、「こうなりたい」という目標につながるから。
- 生きがいや生きる力を与えてくれる。
- 感動すると、今までにない感情が、自分の胸にいつまでも残る。
▶自分の胸に残ると、どうなるの?
- また味わいたいと思って、努力できる。

3

ワークシートに、今日の授業で考えたことや感想を記入する

発問 今日の授業で考えたことや感想を、
ワークシートに記入しましょう。

- 感動を味わうことは、人生の中で一つの明るい星を見つけるようなものだと感じた。「感動する心はきれいだ」と思った。

感動体験を思い出せない生徒もいるため、数人の感動体験を発表させ、「考えよう」につなげた。

教材を読んだ後に、筆者の大内さんの職業や研究テーマなどをスライドで見せることで、生徒が、大内さんの感動体験に寄り添って考えられるようにした。

大内さんが体験した心を揺さぶられるような感動の場面とそのときの思いを押さえて、大内さんの「感動する心」を見つめさせ、中心的な発問に備えた。

自分の感動体験と感動した理由について尋ねて、自分自身の「感動する心」を見つめさせ、中心的な発問につなげた。

個人で考えた後、生徒どうしで言葉にして伝え合うことで、当時の自分の「感動する心」を鮮明に思い出したり、友達の体験から別の体験を思い出したりすることをねらった。

大内さんや自分自身の「感動する心」を踏まえて、感動することのよさやその理由を、クラス全体で話し合い、共有していった。

個人で考えた後に、何人かに発表させた。適宜、理由をさらに掘り下げるような問い返しをして、クラス全体で考えを深められるようにした。

中心的な発問での話し合いを通して、さらに自分の中で考えたことを書くよう促した。